

F-Secure Policy Manager Proxy for Linux 15 Series

Install Guide

エフセキュア株式会社

●免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

●お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象端末が F-Secure Policy Manager Proxy の動作要件を満たしているかご確認ください。

[\[F-Secure Policy Manager Proxy リリースノート\]](#)

[\[F-Secure Policy Manager Proxy 管理者ガイド\]](#)

2. 以下のサイトよりインストールパッケージをダウンロードします。

[\[F-Secure Policy Manager Proxy ダウンロード URL\]](#)

3. root でログインします。

4. ターミナルを開きます。

インストールパッケージ: libstdc++, libstdc++.i686 をインストールしておきます。

5. ダウンロード頂いた Policy Manager Proxy インストーラを以下のコマンドにて実行します。

ディストリビューション	コマンド
Ubuntu/Debian ベース	<code>dpkg -i fspmp-<バージョン番号>.<ビルド番号>_amd64.deb</code>
RPM ベース	<code>rpm -i fspmp-<バージョン番号>.<ビルド番号>-1.x86_64.rpm</code>

例: `# rpm -i fspmp-15.00.93238-1.x86_64.rpm`

6. インストールが正常に完了致しますと以下の表示となります。

```
*****  
* F-Secure Policy Manager Proxy 15.00.93238 has been successfully installed.  
*  
* Run /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-config to finish installation and  
* to start the server.  
*****
```

7. 初期設定を行います。

引き続きターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
# /opt/f-secure/fspm/bin/fspm-config
```

8. Policy Manager Server アドレスを入力します。

Policy Manager による管理を行わない場合には、サーバアドレスを 0.0.0.0 と入力してください。

Specify the details for communication with F-Secure Policy Manager. Enter the server's IP address or its DNS name.

Server address []:

9. 手順 8 にて Policy Manager Server アドレスを入力された/0.0.0.0 と入力された場合で以下の通り進めます。

9-1. Policy Manager Server アドレスを入力された場合:

9-1-1. Policy Manager と通信の際に使用する HTTPS ポートを設定します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。
(下記例では 443)

HTTPS port [443]:

9-1-2. Policy Manager との通信時に用いる公開鍵ファイルを指定します。未取得の場合、ブラウザから Policy Manager のアドレスへアクセス頂きますと公開鍵ファイル(admin.pub)ダウンロードリンクがございますのでそこから入手下さい。

You need to install the management public key to ensure secure communication with F-Secure Policy Manager.

Path to the management public key []:

- 9-1-3. Policy Manager Proxy と各ホスト間での通信時に用いる通信ポートを指定します。
何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。(下記例では HTTP:80、HTTPS:443)

Configure the ports for the Policy Manager Proxy.

Host module HTTP port [80]:

Host module HTTPS port [443]:

- 9-1-4. Policy Manager へログインする際のユーザ名・パスワードを入力します。特にユーザを作成されていない場合(デフォルト値)では admin となります。

Enter the details for your Policy Manager administrator account to authorize TLS certificate enrollment.

User name []:

Password:

9-2. 0.0.0.0 と入力された場合:

- 9-2-1. Policy Manager Proxy と各ホスト間での通信時に用いる通信ポートを指定します。
何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。
(下記例では 80)

Configure the ports for the Policy Manager Proxy.

Host module HTTP port [80]:

10. 以下が表示されますと初期設定完了となります。

```
Configuration is complete. You can manage the F-Secure Policy Manager Proxy manually by
typing '/etc/init.d/fspms {start|stop|restart|status}'.
Thank you for using F-Secure product.
```

※Policy Manager Proxy インストール時の運用モードについて

Policy Manager Proxy には以下の二つの運用モードがあります。
インストール時、フォワードモードにてインストールされます。

・フォワードモード(デフォルト値)

Policy Manager Proxy がパターンファイルを取得する際、インターネットから直接取得を行います。
このモードは Policy Manager が存在しないもしくはパターンファイルを取得させたくない場合に使用するモードとなります。

・リバースモード

Policy Manager Proxy がパターンファイルを取得する際、Policy Manager から取得を行うモードとなります。
Policy Manager が存在する環境では、こちらのモードでの運用をお勧め致します。

リバースモードへの変更につきましては、設定ファイル内の値変更及び弊社サービスの再起動にて実施頂けます。

1. 以下のファイルを開きます。

```
/etc/opt/f-secure/fspms/fspms.conf
```

2. 以下の通り additional_java_args の値を記述します。

```
additional_java_args="" ⇒ additional_java_args="-DreverseProxy=true"
```

3. ターミナルから弊社サービスの再起動を実施します。

```
# /etc/init.d/fspms restart
```

※アンインストールについて

アンインストールを行う場合には以下手順で実施頂けます。

1. Root 権限にてログイン頂きターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
rpm -e f-secure-policy-manager-proxy
```

2. 引き続きターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
rm -rf /opt/f-secure/fspms /var/opt/f-secure/fspms /var/opt/f-secure/fsaus
```

3. 再度インストールする場合には、再起動を実施してください。